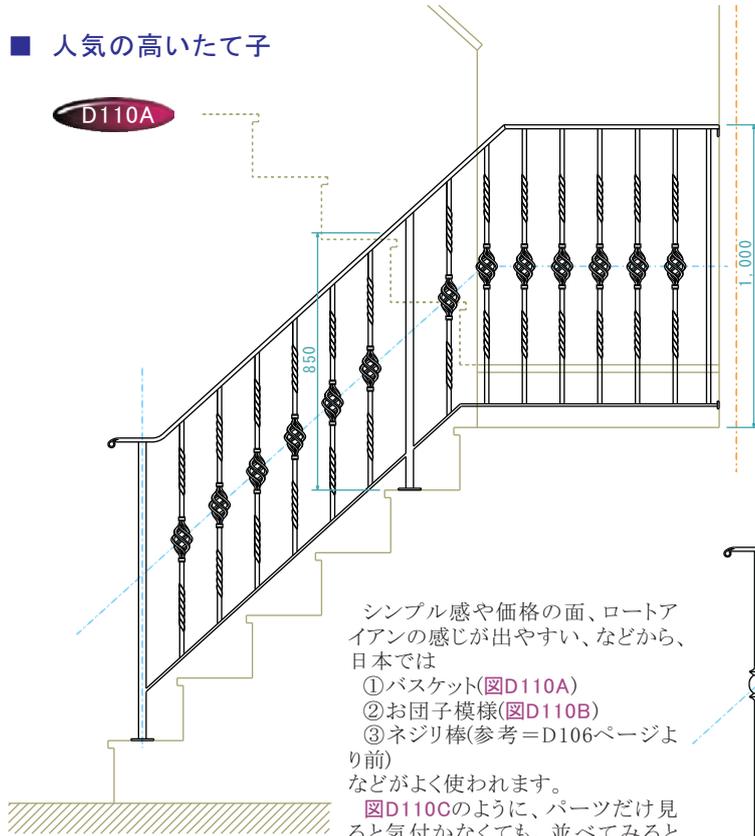
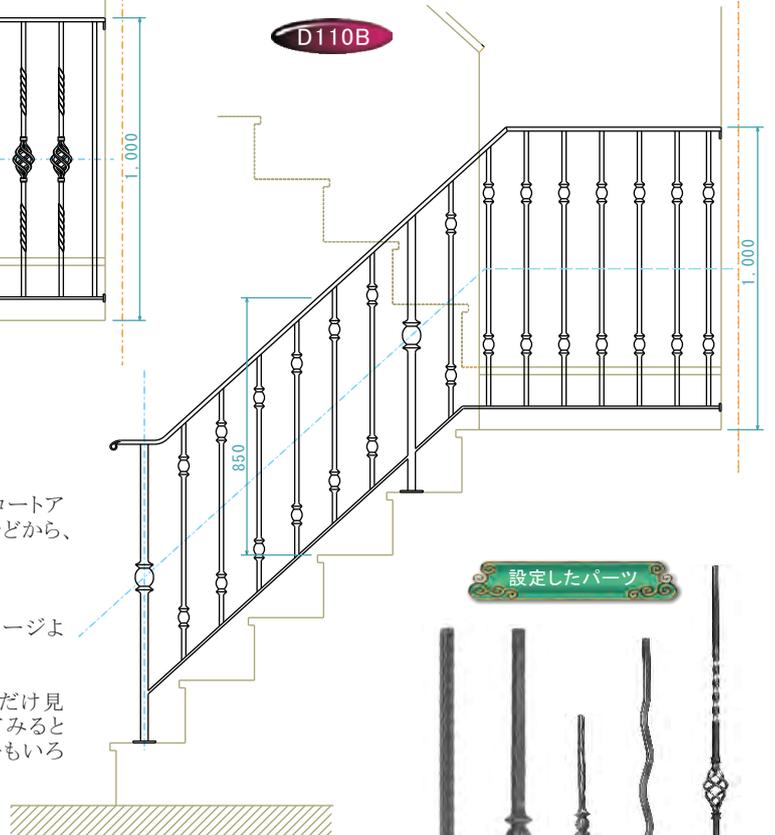


■ 人気の高いたて子

D110A



D110B



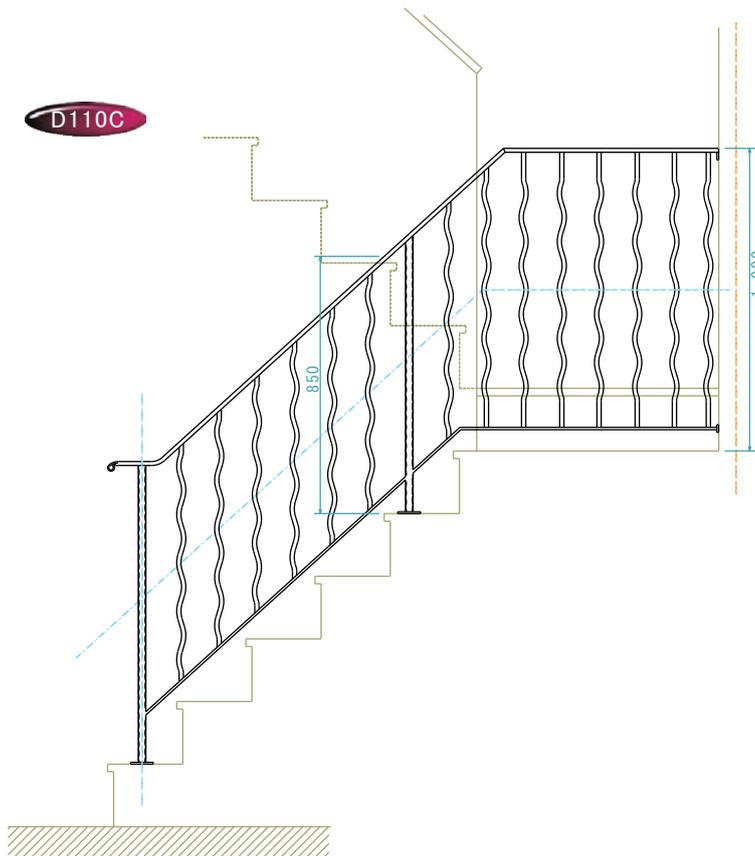
シンプル感や価格の面、ロートアイアン
の感じが出やすい、などから、
日本では

- ① バスケット(図D110A)
- ② お団子模様(図D110B)
- ③ ネジリ棒(参考=D106ページより前)
などがよく使われます。

図D110Cのように、パーツだけ見ると
気付かなくても、並べてみると
面白い効果が出るたて子も
いろいろあります。

設定したパーツ

D110C



● ハンドレール
000.30.304(48X14)

● レールエンド
429.00.304(48X14)

● ボトムレール
000.30.051(25X8)

● 親柱
000.47.076
(25X25)

● ベースプレート
481.04.000(75X75X6)

● たて子
043.40.025
(14X14)

● たて子
131.40.025(14X14)

● たて子
214.40.483(14X14)

● 親柱
305.47.486
(25X25)

● 親柱(長尺材)
000.30.028(25X25)

D110D



■ 幅のあるたて子の場合

唐草パネル付きのたて子や図D111Aのような幅が100mm以上のたて子を標準のアキで並べようとしても、重なってしまったり、アキの大きい部分ができてしまったりと、うまく行かない場合があります。このような時は、たて子とたて子の間に同じ太さのプレーンや樋目模様付のたて子を入れることで解決します(図D111C,111D)。

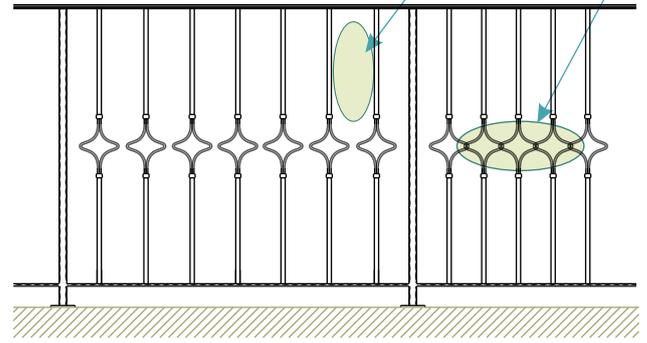
その他、同じ模様グループのたて子を交互に並べたり(図D111E)、模様の位置を上下にずらして並べる方法(図111F)もあります。



D111B

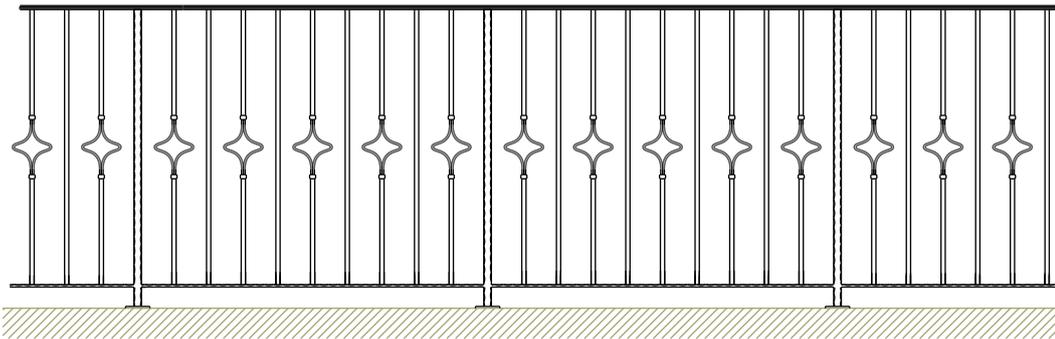
D111A

模様幅のためにアキが大きくなってしま

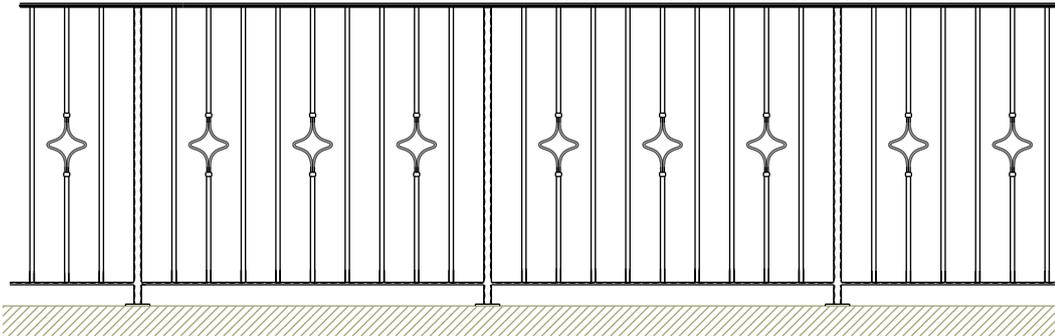


たて子間隔を守ると模様が重なってしまう

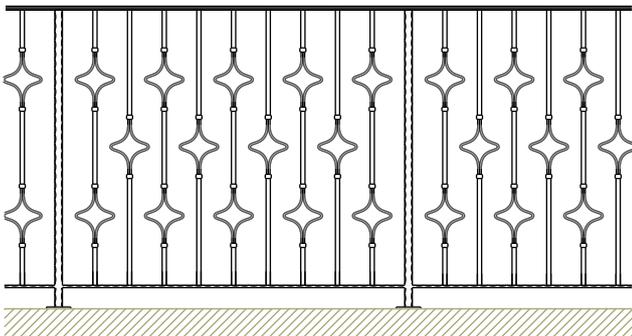
D111C



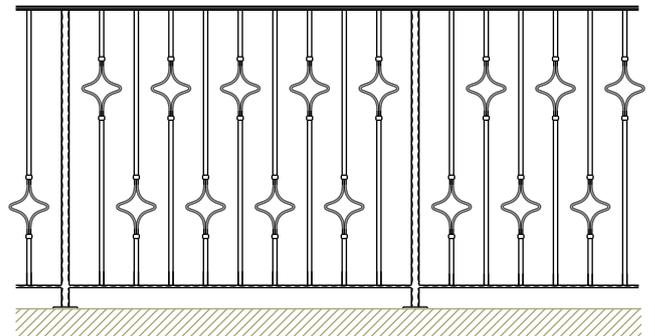
D111D



D111E



D111F



使用上問題がない場合やデザインを優先させる場合は、アキを考える必要はありません(写真D111B)。

設定したパーツ

● ハンドレール
000.30.304(48X14)



● たて子
001.40.025(14X14)



● たて子
988.40.025(14X14)

● たて子
989.40.025(14X14)



● 親柱
001.47.076
(25X25)



● ボトムレール
000.30.242(25X8)



● ベースプレート
481.04.000(75X75X6)

設定したパーツ

D112A



D112B



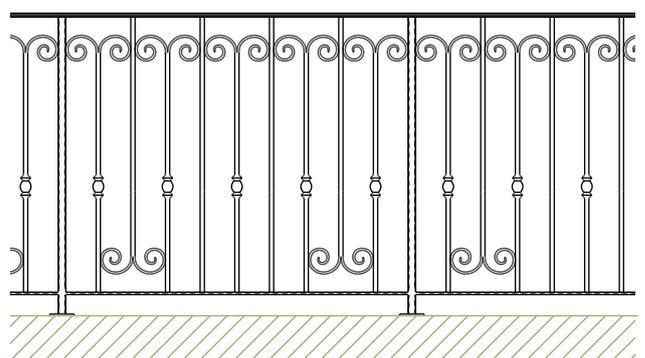
D112C



D112D



D112E



●ハンドレール
000.30.304(48X14)



●たて子
001.40.025(14X14)



●たて子パネル
100.40.025
(14X14)

●たて子パネル
938.40.025
(14X14)



●ボトムレール
000.30.242(25X8)

●親柱
001.47.076
(25X25)



●ベースプレート
481.04.000(75X75X6)



●たて子パネル
032.33.024
(12X12)



●たて子パネル
195.40.025
(14X14)

●たて子パネル
197.40.025
(14X14)

■ 親柱を装飾する

前ページまではおもに装飾たて子の並び方で変化を付ける方法を紹介してきましたが、ここでは装飾された親柱をデザインのメインとして使い、たて子のほうはシンプルなプレーン角棒を用いる手法を紹介しています。

親柱の直上には「ギボシ」という装飾を置いて、より親柱を強調するデザイン技法がよく用いられます。

設定したパーツ



●ギボシ
342.03.000(70φ)

●ギボシ
343.03.000(70φ)

●ハンドレール
000.30.304(48X14)

●レールエンド
425.23.304(48X14)

●レールエンド
410.30.304(48X14)



●レールエンド
411.30.304(48X14)

●親柱
344.47.076
(35X35)

●親柱
342.47.032
(35X35)

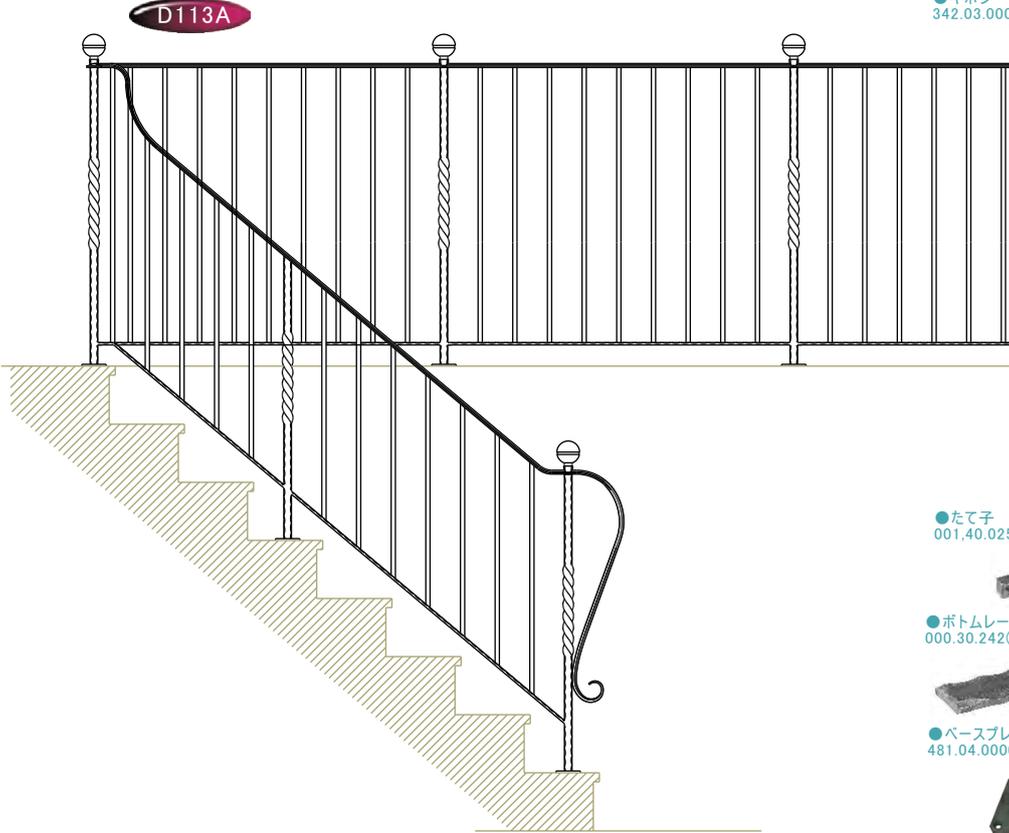
●親柱
331.47.027
(25X25)

●親柱
001.47.076
(25X25)

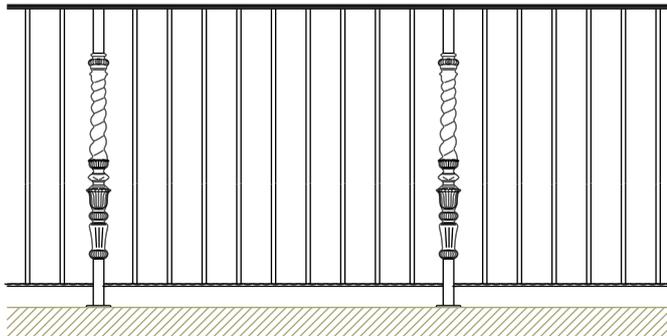
●たて子
001.40.025(14X14)

●ボトムレール
000.30.242(25X8)

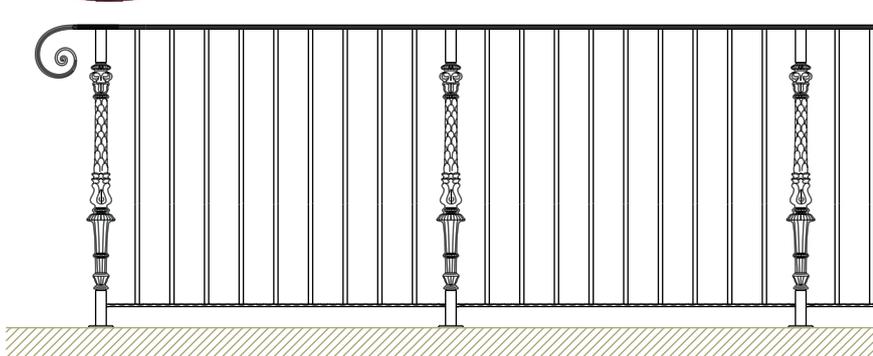
●ベースプレート
481.04.000(75X75X6)



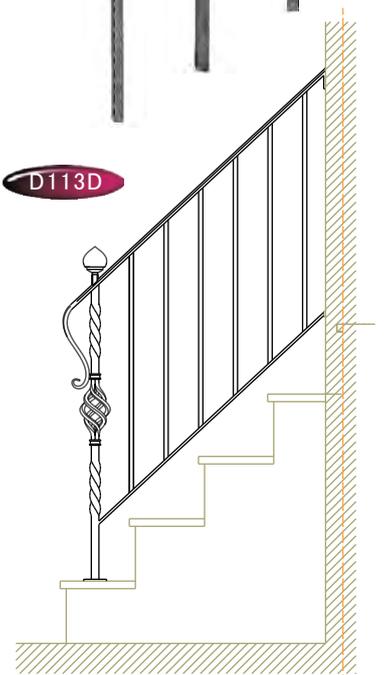
D113B



D113C



D113D



たて子に通して使う

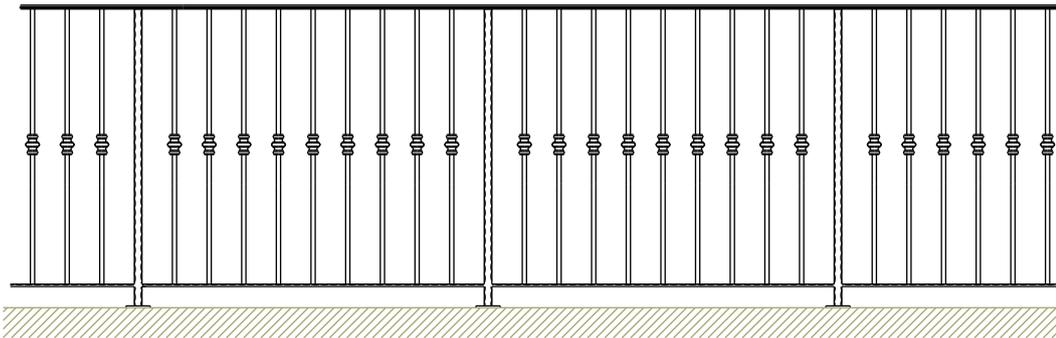
レッキーマタルのロートアイアンパーツの中には、真ん中に穴の開いた小さめのパーツがあります。「ブッシュ」と呼ばれるパーツで、ソロバン玉のようにたて子に予め通して溶接止めして使います。1本のたて子に何個でも好きな位置に使うことができます。たて子に通すタイプのパーツには、他にも「穴あき中空ボール」と「長円形の装飾フレーム」があります。



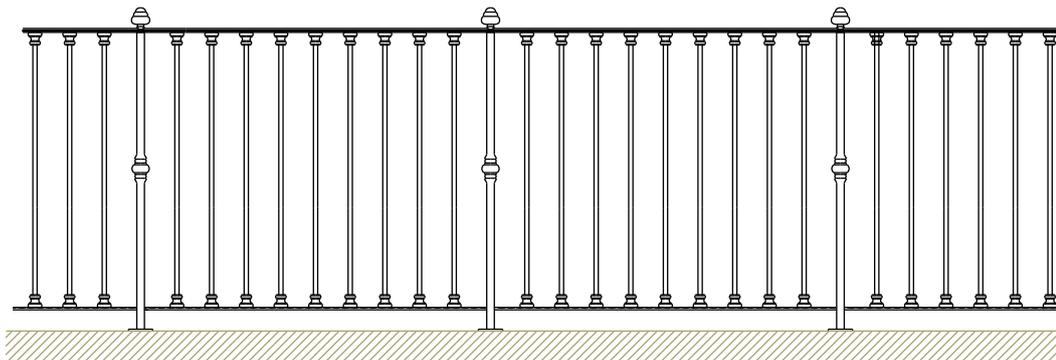
■ ブッシュを使う

ブッシュには、**図131A**のようなたて子の中程に使用するものと、横桟とたて子の交点付近に使用するもの(**図131B**)があります。それぞれ適合するたて子を通る穴が開いていて、適当な位置で溶接止めして使用します。もちろん両方を合わせたデザイン(**図131C**)ができます。

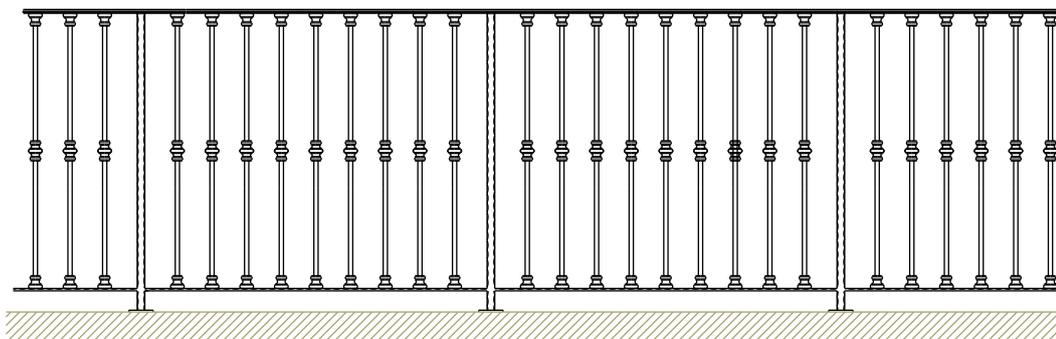
D131A



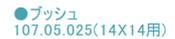
D131B



D131C

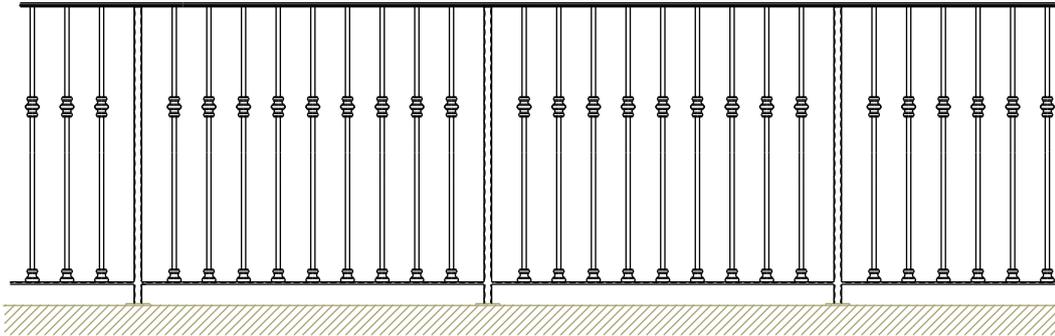


設定したパーツ

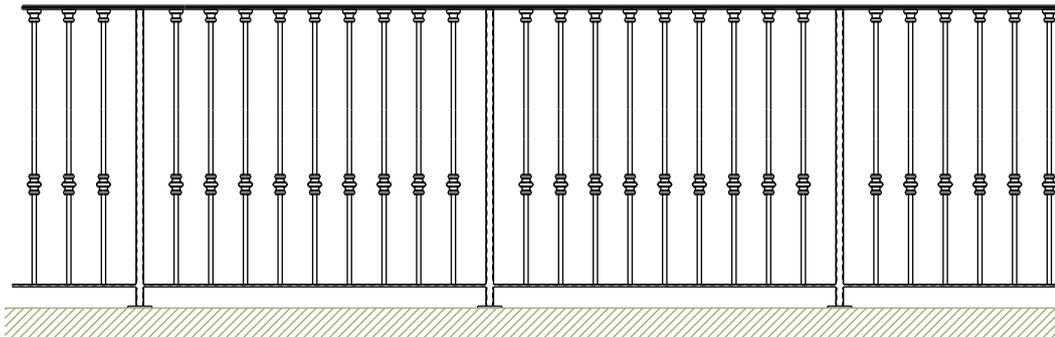


■ 図D132Aは終端ブッシュをボトムレール沿いに配し、中間ブッシュはバランスを見て中心よりやや上に並べました。安定感が出ています。それを上下反転したのが図D132Bです。ハンドレールが強調されました。たて子のどの位置にもブッシュを配置できるのを生かして、図D132Cのようなデザインも楽しめます。

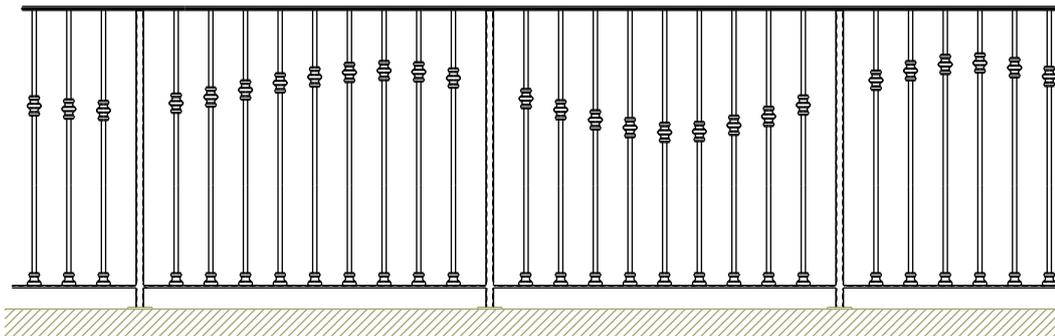
D132A



D132B



D132C



設定したパーツ

●ハンドレール
000.30.304(48X14)



●ブッシュ
107.05.025(14X14用)



●ブッシュ
106.05.025(14X14用)



●たて子(長尺素材)
000.30.024(12X12)



●ボトムレール
000.30.242(25X6)



●ベースプレート
481.04.000(75X75X6)



●親柱
000.47.076
(25X25)



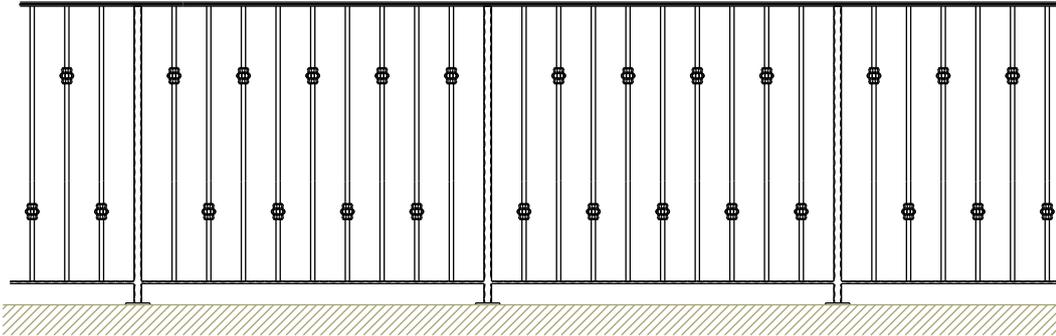
Check!



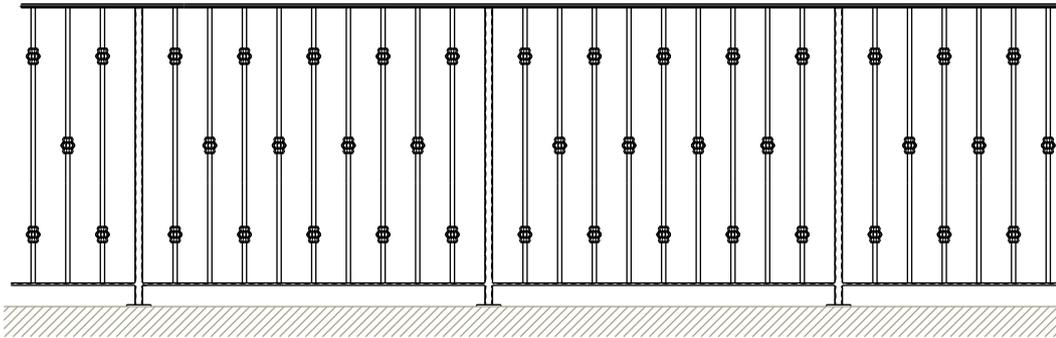
■ ロンドンの裏通り。B&Bと呼ばれるリーズナブルなホテル街の建物のファサードに、こんなスタイルのフェンスが数多く見られます。太くてどっしりとした鋳物製のものも多いですが、ロートアイアンのものは線が細く優雅です。半地下階の窓からの採光と換気のために作られたドライエリアを囲んだ剣先付きのフェンスですが、上部レールとたて子だけのシンプルな構成を基に、ちょっとした装飾を加味しただけでもオリジナリティを演出できるという良い例です。レッキーマタルのロートアイアンパーツを使って簡単にデザインや製作ができます。

D133

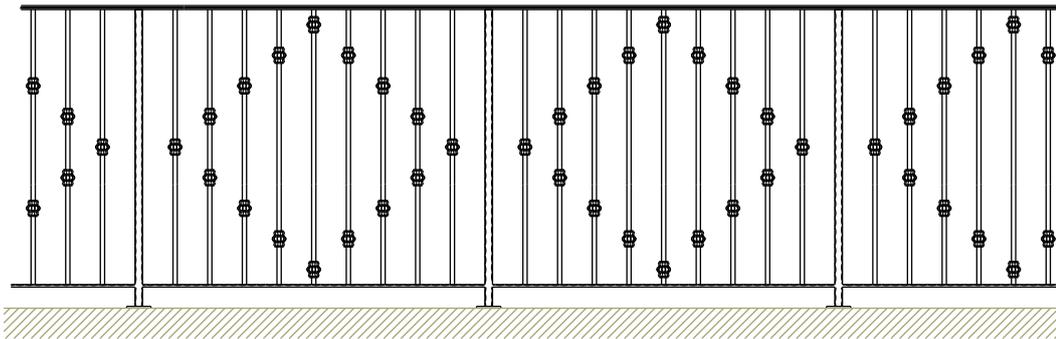
D133A



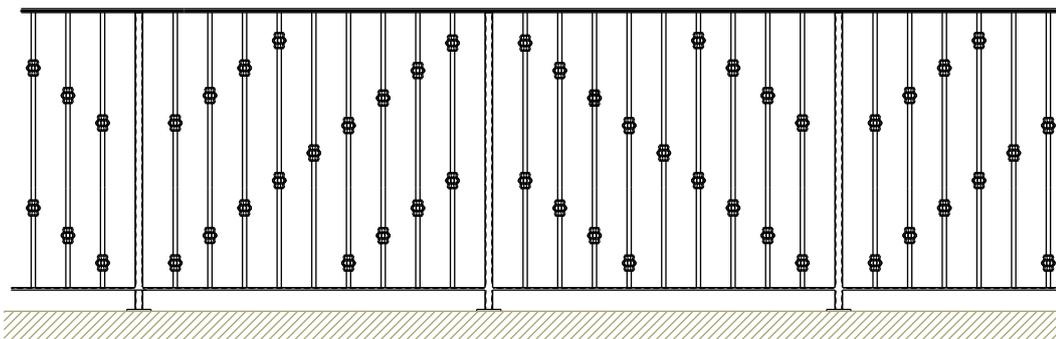
D133B



D133C



D133D



設定したパーツ

●ハンドレール
000.30.304(48X14)



●ブッシュ
133.05.025(14X14用)



●たて子(長尺素材)
000.30.024(12X12)



●ボトムレール
000.30.242(25X8)



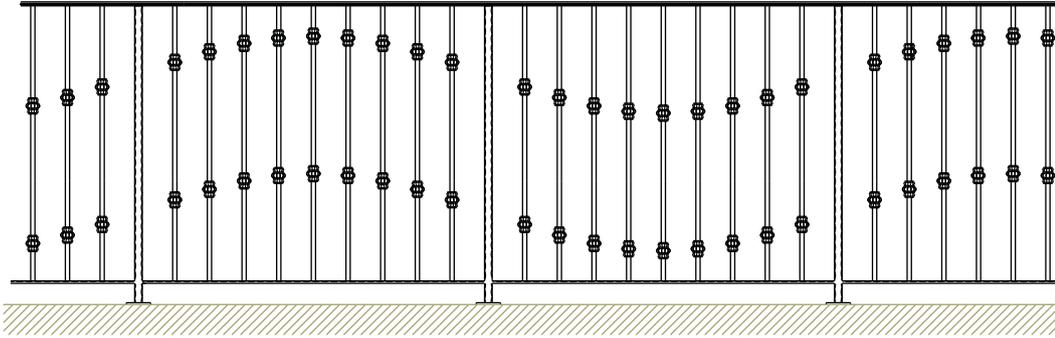
●ベースプレート
481.04.000(75X75X6)



●親柱
000.47.076
(25X25)



D134A



設定したパーツ

●ハンドレール
000.30.304(48X14)



●ブッシュ
133.05.025(14X14用)



●親柱
000.47.076
(25X25)



●たて子(長尺素材)
000.30.024(12X12)



●ボトムレール
000.30.242(25X8)



●ベースプレート
481.04.000(75X75X6)



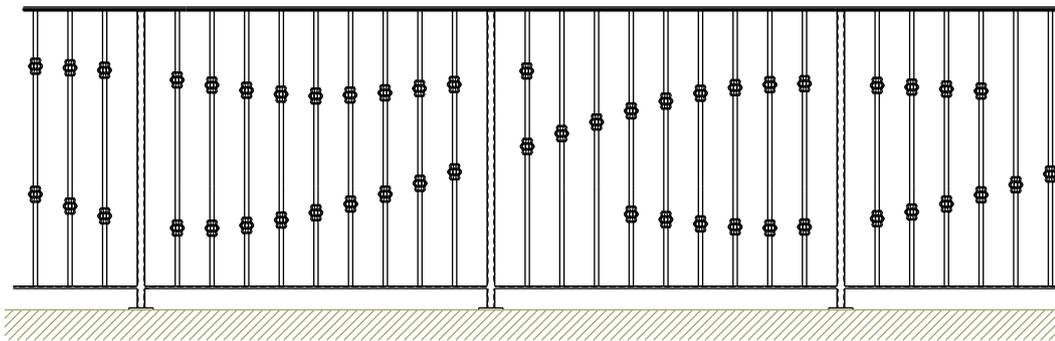
●ブッシュ
105.05.025(14X14用)



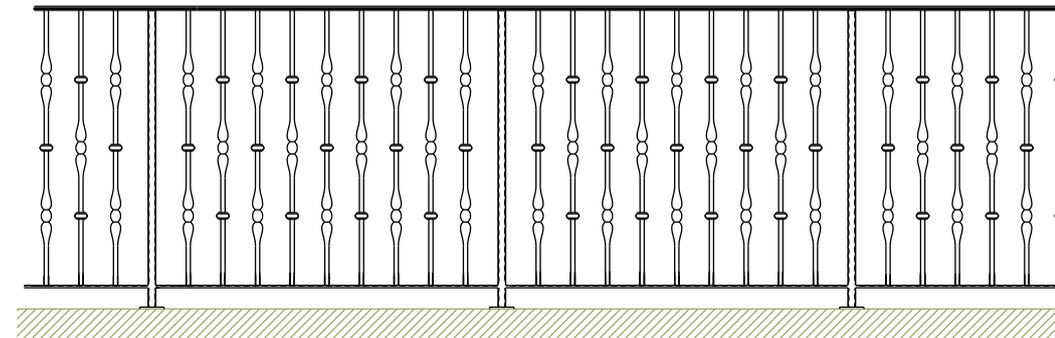
●たて子
199.40.025(14X14)



D134B



D134C

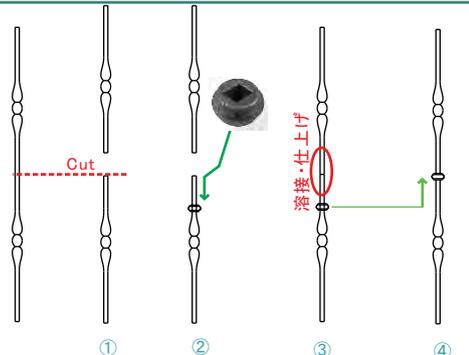


■ブッシュが通せない位置の場合

図D134Cのように、たて子についた2か所の模様部分の中ほどにブッシュを入れたい場合、端から通すわけには行かないので、

- ①たて子をブッシュ設置位置で切断。
- ②ブッシュを先にはめておく。
- ③たて子を溶接して元に戻す。
- ④たて子の溶接箇所を仕上げたら、所定の位置にブッシュを移動して溶接固定。

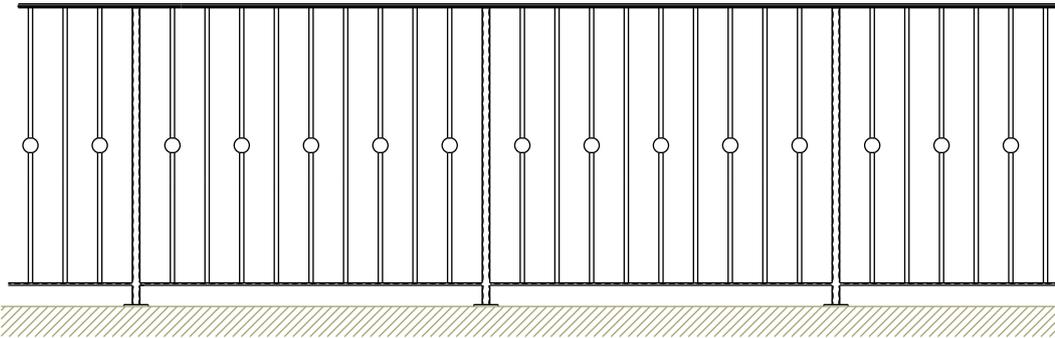
⑤たて子の両端を寸法切りして、製品に組込む。
という工程を踏むことで実現します。ただし納期も製作費も普通よりかかってしまいますので、うっかりこのようなデザインをしてしまって後で慌てないように、チェックをお忘れなく。



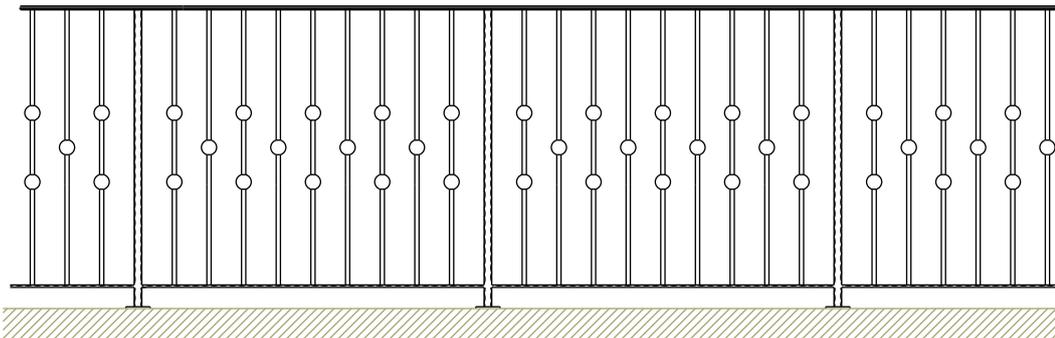
■ 中空ボール

使い方はブッシュと同様で、たて子に通して使いますが、形がシンプルなので、モダンなニュアンスのデザインになるようです。溶接部の仕上がりが命です。中が中空ですから、原則的に防錆メッキはかけられません。

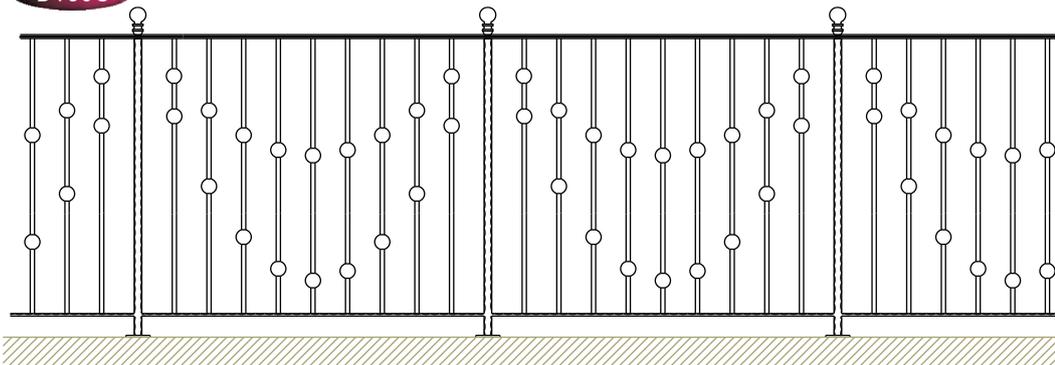
D135A



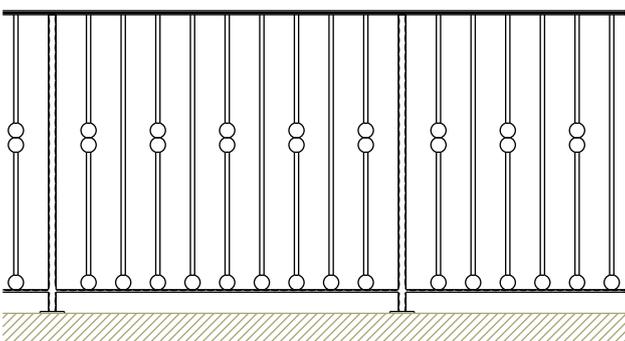
D135B



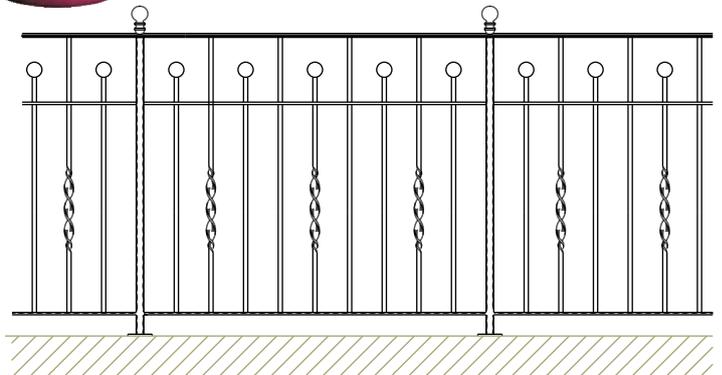
D135C



D135D



D135E



設定したパーツ

● ハンドレール
000.30.304(48X14)



● 中空ボール(貫通穴つき)
603.03.009(50φ・14X14用)



● たて子(長尺素材)
000.30.025(14X14)



● ボトムレール
000.30.242(25X8)



● ベースプレート
481.04.000(75X75X6)



● 親柱
000.47.076
(25X25)



● たて子
009.40.025
(14X14)

● ギボシ
341.03.000(50φ)

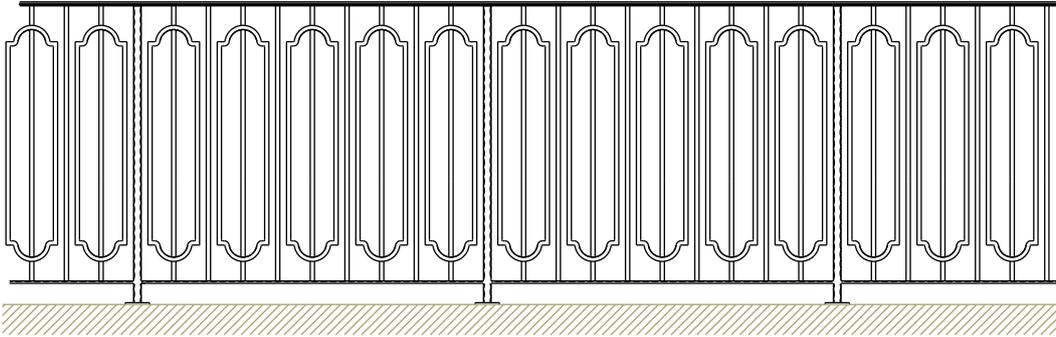


● 中空ボール(メクラ穴つき)
603.03.009(50φ・14X14用)

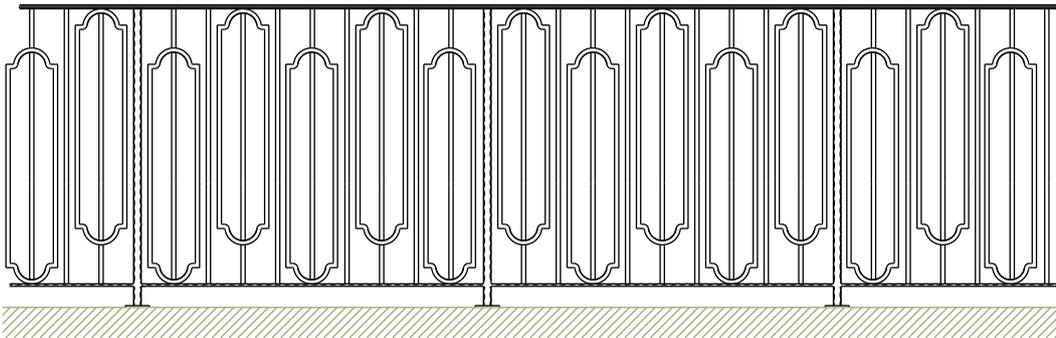
■ たて子貫通型装飾フレーム

上下に、割き通し技法による穴があいている長楕円形のパーツで、この穴にたて子を通して使います。

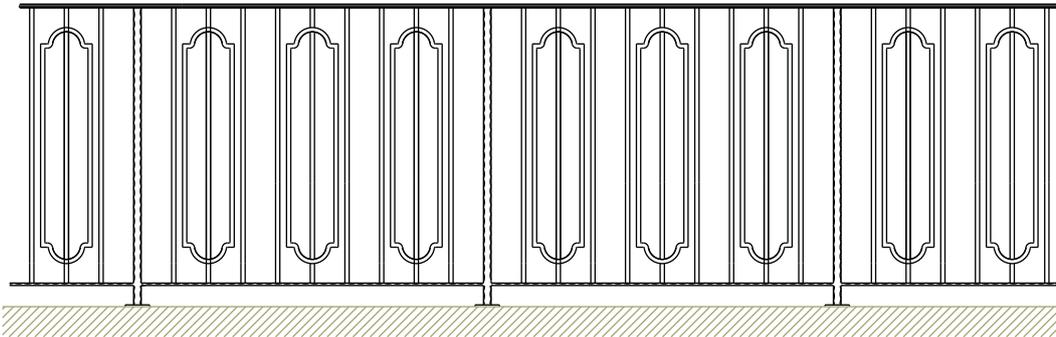
D136A



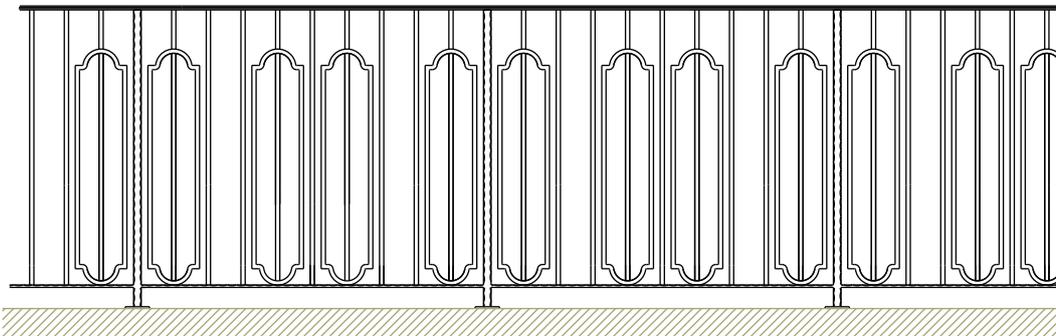
D136B



D136C



D136D



設定したパーツ

●ハンドレール
000.30.304(48X14)



●装飾フレーム
501.11.025
(14X14用)



●親柱
000.47.076
(25X25)



●たて子(長尺素材)
000.30.024(12X12)



●ボトムレール
000.30.242(25X8)



●ベースプレート
481.04.000(75X75X6)

